



邦人作曲家名曲選

～アニメ・映画から純音楽まで～



TAKAMATSU
SYMPHONY
ORCHESTRA
Since 1951

高松交響楽団 第119回定期演奏会

2018 6.10 日 開演 14:00

香川県県民ホール 大ホール
[レクザムホール]

主催：高松交響楽団 (TSO)

協力：高松第一高等学校合唱部

後援：香川県、高松市



指揮 曾我 大介 *Daisuke Soga*

'93年ブザンソン、'98年コンドラシンの二大指揮者コンクールで第1位。以降日本はもとより、ヨーロッパ、南米を中心に世界各地のオーケストラに客演を重ね、'15年にはベルリン・フィルハーモニーホールにおけるベルリン響ベートーヴェン「第九」公演、'16年にはルーマニアのブラショフ・オペラで「リゴレット」を指揮するなど活躍を続けている。ルーマニアとは特に関係が深く、各地のオーケストラや劇場に定期的に客演。'17年には、長年活動を共にするブラショフ・フィル日本公演の指揮者を務めた。ルーマニア国立放送首席客演指揮者、大阪シンフォニカー響（現・大阪交響楽団）音楽監督、ブラジル・ロンドリーナ音楽祭首席指揮者などを歴任、現在東京ニューシティ管弦楽団正指揮者。音楽祭や講習会の講師、コンクール審査員、作曲家としても活躍中。著書に、『第九』虎の巻』など。デルタ・クラシックスより、東京ニューシティ管弦楽団とのCDがリリース中。ルーマニア・ブラショフ市とブラジル・ロンドリーナ市名誉市民。オフィシャルホームページ www.soga.jp/



司会 大河内 惇 *Jun Okochi* NHK 高松放送局

1990年東京生まれ。平成25年にNHK入局。金沢放送局を経て去年春に高松放送局に赴任。現在は平日18時10分から香川県向けに放送している「ゆう6かがわ」のキャスターを務めている。ピアノを4歳から習い始め、大学ではピアノサークルに所属。2台ピアノでチャイコフスキーのピアノコンチェルトやガーシュウインのラプソディー・イン・ブルーなどを演奏した。金沢放送局時代にはNHK全国学校音楽コンクールの司会、NHK交響楽団やオーケストラアンサンブル金沢のメンバーとラジオの公開収録も担当。高松放送局では香川県出身ピアニストのインタビュー企画の制作にあたる。



コンサートマスター 福崎至佐子 *Hisako Fukuzaki*

東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。ヴァイオリンを故 神崎初美、故 巖本真理、故 岩崎洋三、ボヤン・レチェフ、徳永二男に、室内楽を故 ルイ・グレーラーの各氏に師事。日本フィルハーモニー交響楽団を経て1972年、新日本フィルハーモニー交響楽団アシスタントコンサートマスターに就任。コンサートマスターのルイ・グレーラー氏と弦楽四重奏を組みTV、FM東京、CM、映画音楽、レコーディングに活躍する。1985年、高松に帰郷し、ゴールドブレンドコンサート、四国二期会オペラ、四国学院大学メサイア演奏会などでコンサートマスターをつとめる。現在、高松大学名誉教授。かがわジュニア・フィルハーモニックオーケストラ（KJO）音楽監督。高松交響楽団常任コンサートマスター。新日本フィルハーモニー交響楽団団友。日本演奏連盟会員。日本クラシック音楽コンクール・全四国音楽コンクール・山陽学生音楽コンクール等審査員。平成13年度「香川県教育文化功労者表彰」、第42回「四国新聞文化賞」、平成16年度「香川県文化功労者表彰」受賞、第67回「山陽新聞賞（文化功労）」受賞。平成21年度地域文化功労者文部科学大臣賞受賞。第20回（2011年）第23回（2014年）日本クラシック音楽協会優秀指導者賞受賞。2016年福山音楽コンクール「優秀指導者」受賞。平成29年度よんでん芸術文化功労賞受賞。

合唱 高松第一高等学校合唱部

創部60年をこえる歴史を持つ四国を代表する混声合唱団。1977年にNHK全国学校音楽コンクールで全国最優秀賞受賞、同年全日本合唱コンクール全国大会でも金賞受賞。以後、全国大会常連校として常時出場、1991年、2004年、2008年にも全日本合唱コンクール全国大会にて金賞受賞。高校A B 2部門全国大会ダブル出場6回。昨年10月には大阪で開催された全日本合唱コンクール全国大会に出場、今年8月15日にはサンポートホール高松大ホールにて第42回定期演奏会を開催予定。さまざまな行事やイベントにも積極的に参加する、自称「日本一の出たがり合唱団」である。

管弦楽 高松交響楽団 *Takamatsu Symphony Orchestra*

1951（昭和26）年8月、故 緒方益岡氏が県内の有志を募って創立。同年11月香川県公会堂において第1回定期演奏会を開催し、高松に初めてオーケストラの灯を燈す。爾来、半世紀以上に亘る活動を続け、2021年に創立70周年を迎える。これまで110回を超える定期演奏会をはじめ、県内外での特別演奏会、青少年を対象にした音楽教室の実施、香川県県民ホール開館20周年記念オペラ「蝶々夫人」全幕公演（2008年）、サンポートホール高松開館5周年記念「カルミナ・ブラーナ（バレエ付き）」公演（2009年）をはじめ、オペラ・バレエ等の他団体や地元音楽家との共演など地域に深く根ざした幅広い活動を積み重ねている。2001年に迎えた創立50周年を機に新たな半世紀に向けた取り組みとして、高響団員を中心に新たに編成された「コレギウム・ムジクム高松」、「高松オペラシティ・オーケストラ」などの多面的なオーケストラ活動を展開している。さらには2001年より香川県の主催事業となった「かがわジュニア・フィルハーモニックオーケストラ（KJO）」、2003年1月に設立された「丸亀シティフィルハーモニックオーケストラ（MCO）」への演奏・運営面での全面協力など、地域音楽文化の核ともいえる重要な役割を担う香川のマスター・オーケストラとして様々な取り組みを行っている。1987年、地方文化の発展に大きく貢献した功績から音楽団体として四国で初めての「地域文化功労者表彰」を文部大臣より受賞。2008年、香川県より栄えある第1回「文化芸術選奨」を受賞。現在、オーケストラの団員数は、約150名。

皆様、ようこそお越し下さいました。

今回の演奏会では、伊福部昭、芥川也寸志、久石譲ら「邦人作曲家」による名作を取り上げ、皆さまにも耳なじみのある「アニメ・映画」音楽から、日本の熱い生命力みなぎる「本格的芸術作品」まで幅広く演奏します。普段クラシック音楽に馴染みのある方もそうでない方も、また、お子様からご年配の方まで幅広い年代の方も、たつぷりと、日本人の手による親しみやすい名作の数々を生生のオーケストラの響きでお楽しみ下さい。

指揮には、ブザンソン、コンドラシンの2大指揮者コンクールで優勝し、東京ニューシティ管弦楽団正指揮者等、多岐に活躍される曾我大介氏を、2016年の第116回定期演奏会に続き再び招聘いたしました。NHK高松放送局の大河内惇氏による親しみやすい司会とともに、どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

Program

組曲 宇宙戦艦ヤマト (宮川泰)

1974年に放送されたテレビアニメ。謎の異星人国家 ガミラス帝国 から攻撃を受け滅亡寸前だった地球防衛軍が、地球を救うためイスカンダル星へ向かうというストーリーです。SFの中に、深い人間ドラマを織り交ぜたこのアニメは、大変な人気になりました。壮大なストーリーと融合したフルオーケストラによる迫力のある音楽は、宮川泰 (1931~2006) によって作曲されました。その中の代表的な4曲によるオーケストラ組曲です。

神秘的な女声に始まる 序曲、主題歌 宇宙戦艦ヤマト、激戦を描いた 出撃、ヒロイン森雪のテーマ 大いなる愛

となりのトトロ より (久石譲)

宮崎駿監督、スタジオジブリによって1988年に公開され、丁度30年を経た今でも子どもたちの心を捉えて離さない名作アニメ。昭和30年代のとある田舎町を舞台に、子供達と へんないきもの との交流を描いたお話です。音楽では、映画の世界観や、登場人物・いきもの 達の魅力が、美しいメロディでたっぷり表現されています。本日は、作曲者自身がオーケストラ組曲に編曲した「オーケストラ ストーリーズ となりのトトロ」の中から3曲を演奏します。

元気一杯のオープニング **さんぽ** はオーケストラの全楽器を紹介する構成になっています。低音のコミカルな動きが楽しい **ねこバス**、軽快さにホロリとくる郷愁入り交じるエンディング **となりのトトロ** と続きます。

映画 八甲田山 より (芥川也寸志)

1977年に公開された映画。実際に起こった史上最悪の冬山遭難事故「八甲田雪中行軍遭難事件」を題材に、遭難という極限状態での人の在り方を問いかけた作品です。音楽は「八ツ墓村」「砂の器」等の映画音楽でも有名な日本音楽界の鬼才 芥川也寸志によって作曲されました。日本の民謡のような旋律が、単なるそれに留まらず、深い哀しみ、苦しみ、人間の尊厳を深く表現しています。その中から次の4曲を演奏します。

メインタイトル - 徳島隊銀山に向う - 棺桶の神田大尉 - 終焉

交響詩 ウルトラセブン より (冬木透)

1966年より今にいたるまで脈々と創り継がれる「ウルトラシリーズ」の第4弾として、1967年に制作された特撮アクション「ウルトラセブン」。それまでの3作の音楽は軽音楽風だったのに対し、ウルトラセブンでは、クラシック音楽寄りの重厚な音楽です。作曲者によって編曲された交響詩の中から、1・3楽章をお贈りします。

第1楽章 ウルトラセブン登場! 不気味で混沌とした中から主役が颯爽と登場します。

第3楽章 ウルトラホーク発進 勇ましいマーチですが、途中で大崩壊し、死闘が表現されます。

SF交響ファンタジー第1番 (伊福部昭)

「ゴジラ」をはじめとする数々の特撮映画音楽を手掛けた伊福部昭が、1983年に、自らが作曲した特撮映画音楽を選びすぐって幻想曲としてまとめ上げたものです。全部で3番まで作られましたが、ゴジラを含む第1番は非常に人気の高いものです。第1番は、下記の映画の音楽で構成されています。

ゴジラ キングゴング対ゴジラ フランケンシュタイン対地底怪獣 三大怪獣 地球最大の決戦 怪獣総進撃

ラインナップだけで熱いこの曲を、高響団員はますます熱く演奏します。初夏の今こそ、これを聴いて燃えて下さい!

交響管弦楽のための音楽 (芥川也寸志)

芥川也寸志 (1925~1989) は、映画音楽や童謡、全国各地の校歌など、幅広いジャンルの曲を手掛けました。実は、香川県立高松高等学校の校歌も芥川也寸志の作曲です。彼は、その名前から分かるとおり、芥川龍之介の三男です。彼は幼少期から当時の最先端音楽家ストラヴィンスキーに傾倒し、進学した東京音楽学校で伊福部昭にも大きな影響を受けました。そして、卒業時、NHKが主催していた作曲コンクールへ応募し入賞した作品がこの曲です。

第1楽章 Andantino 8分音符のリズムの繰り返しで静かに始まり、木管楽器とトランペットが軽妙に掛け合います。中間部ではリズムがなくなり、哀愁漂うメロディをコーラングレが奏で、それが全体に広がった後、徐々にリズムが取り戻されていきます。途中で半音上へ転調し、盛り上がると思わせかけて唐突に終わります。

第2楽章 Allegro 間を空けずにシンバルが鮮烈な一撃をお見舞いします。大急ぎで弱音器を取り外したトランペットとトロンボーンが印象的な第1主題を強奏し、軽妙な第2主題、音階をゆらゆら上下する第3主題が様々なパターンで演奏されます。それはどんどん膨れ上がり、変拍子を交えたクライマックスを迎えます。全休止のあと、第3・第2主題が楽器編成を変えて登場し、最後は第1楽章の終わりと同じように、全員の一撃で決然と終わります。

シンフォニア・タブカーラ (伊福部昭)

伊福部昭 (1914~2006) は、昭和の日本音楽史に多大な足跡を残した音楽家の一人です。教育者としても、芥川也寸志など、たくさん後進を輩出しました。北海道に生まれた彼は、ほぼ独学で作曲を習得し、たくさん「日本らしい」音楽を作曲しました。「日本らしい」といっても、ありきたりの手法ではなく、彼にしかできない、けばけばしい原色系の表現、粗野な表現によってです。かなり個性的で独特ですが、その一方で、誰が聴いても「これぞ日本の音楽」と感じとれる音楽ばかりなのです。前半に演奏した、SF交響ファンタジーからも、その事を伺い知れるかと思えます。さて、本日最後に演奏する「シンフォニア・タブカーラ」、「シンフォニア」は交響曲という意味ですが、「タブカーラ」はどのような意味でしょう。この言葉は、伊福部昭の地元、北海道のアイヌ民族の言葉で「立って踊る」という意味があります。また、アイヌ民族には同名の古式舞踊が伝わっています。大地への感謝と畏敬の思いを込め、太刀を構え、足を踏みしめ、無心に力強く舞う…。そんな踊りのことです。

第1楽章 Lento Molto - Allegro いかにも北海道の大地というような、チェロとファゴットの雄大な序奏から始まります。この序奏は、主部に入ると、オーボエに取って代われ、倍速になって土俗的な舞曲となります。変拍子が大変効果的に使われています。第2主題は、弱音器をつけたトランペットが望郷の思いを歌います。中間部では巨人が地面を踏みしめて歩くような荘重な楽想となり、どんどん「祭事」のような厳肅な雰囲気になってきますが、再び第1主題が戻ってきて、怒涛のように終わります。

第2楽章 Lento Molto - Allegro 広い北海道の原野に、夜、月明かりに照らされて一人佇む。そんな光景が浮かぶような寂寥感の漂う楽章です。伊福部流「夜の歌」といえるかもしれません。ハーブが、ポツン、ポツンと、時を刻むなか、フルートが寂しく歌います。夜も深まり、曲は不気味さを帯びていきます。やがて、朝が来ますが、寂しい気分のまま、楽章は、ぷつりと途切れます。

第3楽章 Vivace まさに「タブカーラ=立って踊る」という言葉がぴったりの終楽章です。ロックにも通じる激しいリズムによる踊りの音楽です。中間部では少し勢いを落として色々な楽器が美しく歌います。やがて、ヴァイオリン独奏が、先陣を切って踊りの主題を再現し、そこからは、熱狂につく熱狂、ドンチャン騒ぎの終幕です。ご来場の皆様も、実際に「立って踊る」ことはできませんが、心の中で一緒に踊ってください。

【高響倶楽部法人会員】

社会福祉法人 サマリヤ
四国岩谷産業株式会社
香川トヨベット株式会社
ネットヨタ高松株式会社



スタインウェイピアノ 香川唯一正規特約店
有限会社 **高松ピアノ工房**
ピアノ・オーバーホール・調律・修理・レンタル
■ショールーム/
高松市木太町7区3685 TEL:087-833-6049
■工場/
高松市木太町7区3464 TEL:087-833-9433

各種行事の記録ビデオ制作をはじめ映像情報コンテンツの制作なら

株式会社 **よんでんメディアワークス**

TEL (087) 818-1071
FAX (087) 818-1072
URL <http://www.ymw.co.jp>
E-mail info@ymw.co.jp



楽器堂
GAKKIDO CORPORATION
www.gakkido.jp



いい音楽との出会いを大切にします
ピアノ 管楽器 弦楽器 キターベース 打楽器 及び楽譜販売
楽器堂オーバサイオンモール高松店
高松市香西本町1-1イオンモール高松1F
TEL : 087-832-8016

楽器に関するご相談、何でも受付中です！